

## モジュール2

### 基本的なジェンダー分析ツールと その分析手法

17

## 目的

### 農業/農村開発事業で適用できるジェンダー分析ツールへの理解を高める

1. ジェンダー分析ツールとは
2. 基本的な分析ツール
3. 分析ツールの活用方法（いつ、どこで、どのように）
4. ツール結果の分析方法
5. 具体的な介入事例
6. まとめ

18

モジュール2では、対象地域の農家の生活の様子を確認し、ジェンダー課題を探るための有効なツールであるジェンダー分析ツールについて、詳しく見ていきます。

## 1. ジェンダー分析ツールとは

- 開発事業の受益者となる男女が、どのように生活し、どのように互いに関係し、どのような課題に直面しているのかを分析するためのツール



これらを理解することで、事業の円滑な実施と目標達成の促進をはかる

19

ジェンダー分析ツールは、ここで述べられているように、プロジェクトの対象農家男女がどのように生活し、どのように互いに関係しているのかを確認し、その結果として、どのようなジェンダー課題があるのかを明らかにしていくためのツールです。

対象農家が抱えるジェンダー課題を理解・把握することが出来れば、その課題を踏まえて、活動計画の調整、ジェンダー課題緩和のための活動の検討・実施へとつながります。そして、その結果として、プロジェクト事業の円滑な実施と、プロジェクト目標の達成が期待できるようになります。

このプロセスは、農業技術について現況把握のための調査を行う場合と全く一緒です。農家が抱えている問題点を洗い出し、その問題点を緩和するために技術を開発・普及することは、どの農業プロジェクトでも行われています。ジェンダー分析は、農業技術ではなく、技術を適用する農家について調査を行うわけですが、農業技術に係る調査と同様に、ジェンダー分析もプロジェクト目標の達成を目指して行うものです。

それでは、ジェンダー分析ツールとは何なのか、どのように使うのかについて、今から見ていきます。

## 2. 基本的なジェンダー分析ツール

20

ジェンダー分析ツールの中で、最も基本的で、かつ簡単に現場で活用できる3つのツールについてこれから見ていきます。

これらのツールは、対象農家男女の参加を得て、活用していくものです。まずは農家男女各7～8名が集まってくれている様子を思い浮かべながら、読み進めていってください。

それでは、各ツールの説明を始めたいと思います。

## Tool 1. Activity profile

- ・世帯内で誰が何をしているのか
- ・誰がどのような役割を担っているのか

	Men	Women
Productive Activities		
Agricultural/Livestock/etc		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Trade/business/crafts		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Employment		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Other		
Reproductive Activities		
Cooking		
Cleaning		
Childcare		
Firewood/Water Fetching		
Other		
Community Activities		
Ceremonies		
Community meetings		
Others		

21

最初のツールは、「Activity Profile」と呼ばれるものです。生産活動、再生産活動（家事労働）、コミュニティ活動と言った活動に世帯の男女がどのように参加し、従事しているのかを確認することを目的としたツールです。

まず、生産活動、再生産活動（家事労働）、コミュニティ活動の中で行われる様々な作業を明らかにし、上述の表で「Activity 1」、「Activity 2」と書かれているところを埋めていきます。

例として、生産活動について取り上げます。仮に、園芸作物生産向上プロジェクトの参加農家を対象にこのツールを使うとします。その場合、ここで取り上げるのは「園芸作物生産にかかわる作業」となります。一言で園芸作物と言っても多様な作物があるので、対象地域で最も一般的に生産されている作物を参加農家に特定してもらいます。例えばトマトであれば、トマト生産の作業工程を参加農家に思い浮かべてもらい、最も重要な作業を7つ程度特定してもらうこととなります。作業が特定されたら、参加者に男女別に分かれてもらいます。

男女別のグループでは、それぞれの作業に農家世帯の男女がどのように従事しているのかについて✓を使いながら、示してもらいます。例えば、「苗床づくり」、「移植」、「除草」等々の作業が挙げられているとします。もし、「苗床づくり」は、女性が単独で実施しているようであれば、女性の欄に✓を入れ、男性の欄を空欄とします。一方、「移植」は男女双方が同じように行っているとすれば、男性、女性の欄それぞれに✓を入れます。また、「除草」は、女性もするが、どちらかと言うと男性が主たる従事者であると言った場合は、男性の欄に二つの✓✓を入れ、女性の欄には一つの✓を入れます。

このようにして、生産活動、再生産活動、コミュニティ活動における男女双方の作業量の軽重を確認していきます。

## Activity Profile (Productive / Reproductive)

### この表から何が読み取れますか？

(Rice Farming Tasks)

Activity	Men	Women
Land clearing	√√	√
Ploughing	√√	√
Nursery preparation	√	√
Sowing	√	√
Puddling	√	
Transplanting		√
Fertilizer application	√	
Chemical spraying	√	
Bird scaring	√	√
Transporting	√	
Selling	√	√
Keeping money	√	

(Household Tasks)

Activity	Men	Women
Cooking		√
Washing dishes		√
Mopping		√
Washing clothes		√
Ironing	√	√√
Nursing children		√
Nursing sick person	√	√√
Fetching water		√
Collecting firewood		√
Feeding livestock		√
Constructing house	√	

22

それでは、ここでスライドの表を見てください。

これは、稲作プロジェクトに参加することになった農家男女に「Activity Profile」ツールを用いて、男女がどのように生産活動と再生産活動(家事労働)に参加しているのかについて答えてもらったものです。

どういったことがツール結果から読み取れますか？

## Activity Profile (Productive / Reproductive)

### この表から何が読み取れますか？

(Rice Farming Tasks)

Activity	Men	Women
Land clearing	√√	√
Ploughing	√√	√
Nursery preparation	√	√
Sowing	√	√
Puddling	√	
Transplanting		√
Fertilizer application	√	
Chemical spraying	√	
Bird scaring	√	√
Transporting	√	
Selling	√	√
Keeping money	√	

(Household Tasks)

Activity	Men	Women
Cooking		√
Washing dishes		√
Mopping		√
Washing clothes		√
Ironing	√	√√
Nursing children		√
Nursing sick person	√	√√
Fetching water		√
Collecting firewood		√
Feeding livestock		√
Constructing house	√	

23

いかがでしょうか？

稲作生産では、男女双方が作業にかかわっていることが分かるかと思います。但し、いくつかの作業については、男性のみが、また田植えについては女性のみがかかわっていることも分かります。また、稲作からの収入については、男性に決定権があることが示されています。

一方、再生産活動についてはどのようなことがわかるでしょうか。ほとんどが女性の仕事です。家屋の建設は男性が担っているようですが、この作業は、毎日することではありません。補修作業であったとしても、年に数回程度のことでしょう。従って、再生産活動を担っているのは女性であり、男性について言えば、ほぼなんの役割も果たしていないと言っても過言ではないと考えられます。

どうでしょうか。このあたりのことが読み取れましたでしょうか。

Time	Husband / Father	Wife / Mother
3:00 am	Sleep	Sleep
3:30 am		
4:00 am		Wake up
4:30 am		Breakfast preparation
5:00 am	Wake up Breakfast	breakfast
5:30 am	Work in the farm	Work in the farm
7:00 am		
12:00 am		Lunch preparation

## Tool 2. Daily Activity Profile

- 世帯内で誰が何をしているのか
- 誰がどのような役割を担っているのか
- それぞれの役割にどの程度の時間をかけているのか。

24

次のツールは「Daily Activity Profile」です。これは朝起きてから、夜寝るまで、男女がどのようにそれぞれの一日を過ごしているのかを確認するものです。

これも男女別のグループで行い、男性グループは男性の一日を、女性グループは女性の一日を作成するようにして下さい。また、必要に応じて、農繁期とそうでない時期の2種類を男女双方に作成してもらっても良いかと思えます。



## Daily Activity Calendar

### この表から何が読み取れますか？

Men's group		Women's Groups	
Time	Activity	Time	Activity
		5.00	Wake up, light fire to boil water for milking, clean kitchen
6.00	Wake up Inspect security of homestead	6.00 -7.00	Milking, Cooking breakfast, bath children, take breakfast, prepare and take children to school
7.00	breakfast		
8.00 -10.00	Feed livestock Work in the farm	8.00 -10.00	Work in the farm
11.00 – 14.00	Tea/resting Take lunch Take a walk	10.00 - 11.00	Cooking vegetables for lunch
		11.00 -13.00	Feeding livestock, fetch firewood, eat lunch
14.00 -16.00	Work in the farm	14.00- 15.00	At the market
		15.00-16.30	Work in the farm
17.00 -18.00	Inspect animals	16.30- 17.00	Fetch water
19.00 -20.00	Resting/tea	18.00	Milking, wash utensils, cooking
21.00	Take dinner	18.00-19.00	Take care of children,
22.00 -1.00	Sleeping	19.00-20.00	feeding family
1.00 -2.00	Wake up inspect animals	21.00	Eating and washing utensils, Go to sleep
2.00-6.00	Sleeping	22.00-5.00	sleep

25

それでは、ここでスライドの表を見てみましょう。

これも、稲作プロジェクトに参加することになった農家男女に、農繁期の自分たちの一日の過ごし方を、男性には男性の一日を、女性には女性の一日を描いてもらったものです。

どういったことがツール結果から読み取れますか？

## Daily Activity Calendar

### この表から何が読み取れますか？

Men's group		Women's Groups	
Time	Activity	Time	Activity
		5.00	Wake up, light fire to boil water for milking, clean kitchen
6.00	Wake up Inspect security of homestead	6.00 -7.00	Milking, Cooking breakfast, bath children, take breakfast, prepare and take children to school
7.00	breakfast		
8.00 -10.00	Feed livestock Work in the farm	8.00 -10.00	Work in the farm
11.00 – 14.00	Tea/resting Take lunch Take a walk	10.00 - 11.00	Cooking vegetables for lunch
		11.00 -13.00	Feeding livestock, fetch firewood, eat lunch
14.00 -16.00	Work in the farm	14.00- 15.00	At the market
		15.00-16.30	Work in the farm
17.00 -18.00	Inspect animals	16.30- 17.00	Fetch water
19.00 -20.00	Resting/tea	18.00	Milking, wash utensils, cooking
21.00	Take dinner	18.00-19.00	Take care of children,
22.00 -1.00	Sleeping	19.00-20.00	feeding family
1.00 -2.00	Wake up inspect animals	21.00	Eating and washing utensils, Go to sleep
2.00-6.00	Sleeping	22.00-5.00	sleep

26

いかがでしょうか？

女性に比べ、男性は比較的、休息をとる時間があることが分かります。また、女性が一度に様々な作業をこなしているのに対し、男性は一つの作業に集中できていることも分かります。

どうでしょうか？ 他には、どのようなことがこの表から読み取れたでしょうか。

## Tool 3. Access & Control Profile

Resources	Who has access or uses?		Who owns and controls?	
	Men	Women	Men	Women
Land				
Credit				
Income				
Labour				
House				
Tools/machines				
Others				

世帯内のリソースに誰がアクセスし、またコントロールしているのか

27

最後の3番目のツールは、「Access & Control Profile」です。ここでは、生産活動を行う際に必要不可欠とされるリソース／資源、あるいは世帯にとって非常に重要な資源／リソースを誰が使えるのか、また、リソース／資源の活用について誰が決定権を有しているのかを確認します。スライドのリソース／資源はあくまでも例です。プロジェクトの内容、対象地域の状況に応じて、特定していく事になります。

例えば、園芸作物のプロジェクトであるならば、園芸作物生産を行う際に必要不可欠であるリソース／資源をまず、特定します。恐らく、「土地(農地)」、「資本」、「農具」等が、この場合の重要なリソース／資源でしょう。その他に、農家が重要であると思うリソース／資源もいくつか特定します。事前に、プロジェクト側でこれらのリソース／資源をリストアップすることもできますし、また参加農家男女と一緒に特定することも可能です。リソース／資源がリストアップされたら、参加農家男女を男女別のグループに分け、「Activity Profile」と同様に男女のいずれが、それぞれのリソース／資源に対してアクセス及びコントロールを有しているのかを✓を使って、確認していきます。

なお、アクセスはリソース／資源が使用できるかどうか、コントロールはそのリソース／資源の用途を決定できるかどうかを指します。例えば、プロジェクトで雇用している運転手は、プロジェクト車輛に対するアクセス(使用权)はありますが、その車輛をどのように活用するか、誰が活用するかと言ったことについてのコントロール(決定権)はありません。

## Access to & Control of Resources この表から何が読み取れますか？

Resources	Who has access to it?		Who controls it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	√√	√√	√	
Farm tools(Jembe)	√√	√√	√√	√
Dairy cow	√√	√√	√	
Poultry(Local)	√	√√√	√	√√
Training	√√√	√		
Rice	√√	√√	√√	√

28

それでは、ここでスライドの表を見てください。

これも、稲作プロジェクトに参加することになった農家男女に「Access and Control Profile」を使って、稲作生産に必要不可欠なリソース／資源を中心に、世帯内の男女のいずれが、それらを使用することが出来るのか、またそれらをどのように使うのかの決定権を有しているのかを、示してもらったものです。ここでは、リソース／資源として、土地や農具と共に、酪農牛、鶏、研修機会、そしてコメがあげられています。酪農牛や鶏はこの地域にとって重要な収入源と考えられます。また、プロジェクトが対象としているコメがここに挙がっていることにも注目してください。対象作物をどのように活用するかの決定権を誰が有しているのか、ジェンダー課題を把握するために非常に重要なポイントとなりますので、このツールを使った調査をする際は、プロジェクトの対象作物を含めるようにして下さい。また、プロジェクトが農家研修を重要な活動として位置付けている場合は、この事例のように「研修機会」を含めると、その地域で研修を行う際、誰が参加してくれそうなのかを推測することができます。

それでは、こういったことがツール結果から読み取れるのか検討してみてください。

## Access to & Control of Resources この表から何が読み取れますか？

Resources	Who has access to it?		Who controls it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	√√	√√	√	
Farm tools(Jembe)	√√	√√	√√	√
Dairy cow	√√	√√	√	
Poultry(Local)	√	√√√	√	√√
Training	√√√	√		
Rice	√√	√√	√√	√

29

いかがでしたか？

アクセスについては、男性も女性もほぼ平等のようですが、鶏は女性が中心となって世話をしていることがうかがえます。また、研修については、男性の方が、参加することが多いようです。この点は、プロジェクトが農家研修を企画している場合には留意する必要があります。

一方、コントロールは、ほぼ男性の領分であることがわかります。土地も乳牛も男性の財産であり、女性がこれらについて、何かを意見することが難しい状況と言えるのかと思います。唯一、鶏については、女性により決定権があるようですので、鶏をどのように処分するのか、女性の意見が通りやすい状況にあると思われます。

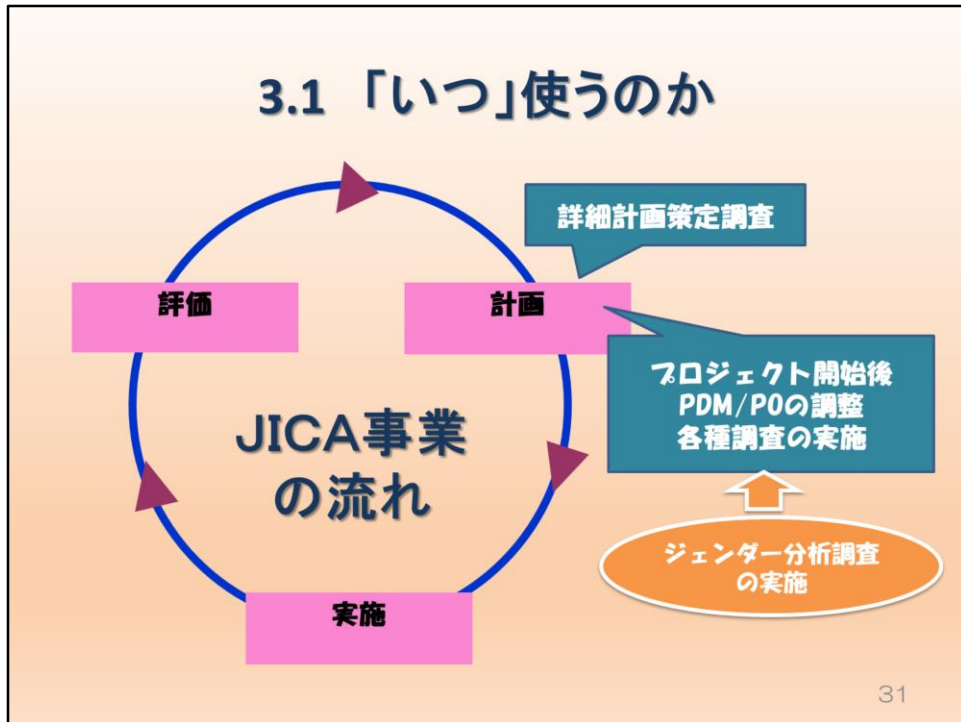
どうでしょう？その他にも何かこの表から読み取れることがあったでしょうか。

### 3. 分析ツールの活用方法

30

ここでは、これまで概観した分析ツールを、実際にどのように現場で活用するのかを見ていきます。

### 3.1 「いつ」使うのか



こちらに示したのは、JICAの一般的な技術協力プロジェクトの流れです。

分析ツールを用いての調査は、対象コミュニティの男女がどのように暮らしているかを確認し、その結果に基づいて、プロジェクト活動にジェンダーを主流化していく事を目的としていますので、「計画」の段階で実施される必要があります。



## 3.2 「どこで」使うのか



コミュニティで



それでは、次に、「ジェンダー分析ツール」を活用する場所です。

これまで説明してきましたように、いずれのツールも農家男女の参加があって初めて、活用可能なものですので、当然、コミュニティでの使用が条件です。

これらの写真のように、屋外でも建物の中でも、適当なスペースがあれば、どこでも実施可能です。なお、右下の写真は、男女が一緒に参加していることが分かるかと思いますが、この写真は、ジェンダー分析ツールについて、全般的な説明を男女一緒の場で行っているときの様子です。他の写真はいずれも、全体説明が終わり、男女別のグループに分かれて、それぞれのツールについて話し合っているときの様子です。なお、左上の写真にあるように、それぞれのツールに係る表を模造紙等へ書き出し、それを参加している農家皆が見える場所に貼り出して、行くと良いかと思えます。



### 3.3「どのように」使うのか

#### ① 準備

- a. ツール設計
- b. 補足質問票(インタビュー/ディスカッション用)作成
- c. 調査参加者特定
- d. スケジュール確定

#### ② 実施

- a. 分析ツール活用の際の留意点
- b. 結果共有

#### ③ 結果取り纏め・分析

33

それでは、次に、ジェンダー分析ツールやそれを補足する他の手法での調査をどのように行うのかについて、順番に見ていきます。

# ① 準備: ツール設計: Activity Profile

稲作栽培の場合  
(例)

Activity
Levelling
Transplanting
Weeding
Chemical Application
Harvesting
Marketing
Income Control

- プロジェクト活動に合わせて各活動を選定
- 現地で参加者に選定してもらう事も可能

	Men	Women
<b>Productive Activities</b>		
Agricultural/Livestock/etc		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Trade/business/crafts		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Employment		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Other		
<b>Reproductive Activities</b>		
Cooking		
Cleaning		
Childcare		
Firewood/Water Fetching		
Other		
<b>Community Activities</b>		
Ceremonies		
Community meetings		
Others		

34

まず最初は、調査を準備する際の留意点をお話します。

こちらは、「Activity Profile」です。前述のように、生産活動については、プロジェクトが対象とする作物に併せて、作業を特定します。稲作プロジェクトであれば、稲作生産に係る作業を、酪農プロジェクトであれば、酪農に係る作業を、7つ程度、特定しましょう。

スライド21では、参加農家に作業を特定してもらうよう、説明しました。但し、調査の時間があまり取れない、あるいはわざわざ作業を農家に特定してもらうまでもないと思われる場合は、調査前に、事前に、プロジェクト側で、主な作業を特定することも可能です。

## ① 準備: ツール設計: Daily Activity

Time	Husband / Father
5:00 am	
6:00am	
7:00 am	
8:00 am	

Time	Wife / Mother
5:00 am	
6:00am	
7:00 am	
8:00 am	

男女それぞれに自分自身が  
一日をどのように過ごしてい  
るかを記入してもらう

35

次は、「Daily Activity Calendar」です。

こちらは、スライド24で説明したように、参加者を男女別のグループに分け、男性グループには男性の一日を、女性グループには女性の一日を記入してもらいます。こちら模造紙をグループに配布し、描いてもらいます。

## ① 準備: ツール設計: Access & Control

Resources	Who has access or uses?		Who owns and controls?	
	Men	Women	Men	Women
Land				
Credit				
Income				
Labour				
House				
Tools/machinery				
Others				

- プロジェクト活動に合わせてリソースを選定
- 現地で参加者に選定してもらう事も可能

36

次は、「Access & Control Profile」です。

こちらについても、「Activity Profile」と同様に、リソース／資源については、プロジェクト側で事前に特定しておくことも、また現場で参加農家に特定してもらうことも、いずれも可能です。

## ① 準備： 補足質問票作成

### 質問票の目的

- 分析ツールで得た情報のトライアングレーション
- 分析ツールでは得られない、しかし重要な情報の入手

37

対象地域で、ジェンダー状況についての調査を行う際は、ジェンダー分析ツールのみならず、グループ・ディスカッションやインタビューと言った調査手法を併せて用いることが重要です。分析ツールだけでは、集めきれない情報も多くありますし、また、分析ツールを通じて収集された情報のトライアングレーションの意味でも、調査では、ディスカッションやインタビュー等を併せて実施することが必要不可欠です。複数の調査手法を用いることで、異なる視点からの情報を多角的に集めることが出来ます。

# ① 準備： 補足質問票作成

対象者

男女農家



行政官/普及員



キーインフォーマント



38

グループ・ディスカッションやインタビューの対象者は、主に、男女農家、行政官／普及員、あるいは地域の実情をよく知るキーインフォーマントなどが挙げられます。

## ① 準備： 調査参加者の特定

男女農家



行政官/普及員



キーインフォーマント



誰を何人ずつ？  
どのくらいの時間をかけ  
られる？  
男女のバランスは？

39

調査対象者が決まったら、次にそれぞれ何人くらいに話を聞くのかを検討します。

調査日程によって、話を聞くことが出来る人数はある程度限定されてくるかと思いません。ディスカッションもインタビューもいずれも、1回1時間程度が目安となります。これ以上の時間だと、話を聞かれる方は疲れてしまいますし、注意力が散漫になります。また、参加者に時間を割いてもらって、実施しているのですから、出来るだけ短く、簡潔に、聞きたいポイントを絞って実施することが大切です。

また、いずれについても、出来るだけ男女のバランスよく、対象者を選ぶようにして下さい。男女がどのように生活しているのかを確認する調査ですので、どちらか一方に話を聞くだけでは、全体像をつかむことは出来ません。

## ① 準備：スケジュール確定

	参加者	時間	留意点
ジェンダー分析ツールを用いた演習	・ 男女農家グループ	半日程度	男女別を実施
グループ・インタビュー	・ 男女農家 ・ 普及員 ・ 行政官 ・ その他関係者	1時間程度	必要に応じて男女別、職種別、職位別 男女のバランスに注意
キーインフォマント・インタビュー	・ キーインフォマント	1時間程度	男女のバランスに注意

40

こちらの表は、それぞれの手法について、対象者、必要な時間の目安、そして留意点を示したものです。皆さんが、現場で同様の調査を計画する際の参考にしてください。



## ② 実施： 分析ツール活用の際の留意点



**男女別のグループに分ける**

41

次に、実際に調査を行うときの留意点について、見ていきます。

まず、分析ツールを使うときは、参加者を必ず男女別のグループに分けます。プロジェクト関係者を一人、ファシリテータとしてそれぞれのグループに配置することになりますが、そのファシリテータも可能であれば、男性グループには男性を、女性グループには女性を配置するようにして下さい。この写真では、正面を向いている白いシャツの男性がプロジェクトのカウンターパートで、彼が男性グループのファシリテータを務めています。また、写真奥の女性グループについては、模造紙に何かを書き込んでいる女性がやはりプロジェクトのカウンターパートで、女性グループのファシリテータを務めています。なお、男性カウンターパートの隣に座っている女性は、この地域の普及員で、どのように調査を行うのかについて学んでもらうために参加してもらいました。

## ② 実施： 分析ツール活用の際の留意点



皆が参加できるように

ファシリテータを  
農家の方に任せ  
ることも



42

参加している農家全員が、話し合いに参加できるように、ファシリテータが留意するよう指導してください。例えば、「Activity Profile」ならば、誰がどのような作業をしているのか、一つの作業ごとに、参加者皆の反応を確かめながら、話し合いを進めることが肝要です。特定の参加者のみが答えて、あとの人たちが押し黙っているようなことがないよう、注意してください。

また、カウンターパートがファシリテータを務めるのではなく、参加農家を一人指名して、その人にファシリテーションを任すことも出来ます。その場合は、カウンターパートは、話し合いの様子を見ながら、必要に応じて適宜、話し合いに参加し、誤った方向に話し合いが進むことのないように注意するよう指導してください。右下の写真では、参加農家の女性がファシリテーションをしています。

## ② 実施： 分析ツール結果の共有

皆で結果を  
共有

参加者が男  
女の違いや  
共通点に気  
づき、この  
後の介入が  
し易くなる



43

時間が許せば、男女別のグループワークが終わったら、男女全員でその結果を共有するようにします。

グループワークの結果は、プロジェクトにとって、活動の円滑な実施に役立てるための貴重な情報となりますが、参加農家にとっても、自分たちの妻や夫の意識や行動を知る機会を提供するものとなります。せっかく、農家に時間を割いて、調査に参加してもらったのですから、是非、結果を共有するための時間を確保するよう努めてください。

これらの結果を共有することで、農家自身が自分たちの生活を振り返るきっかけとなり、プロジェクトの今後の活動に肯定的な影響を与えることにもなります。

## ② 実施： インタビュー実施の際の留意点



□ 話しやすい雰囲気づくりを

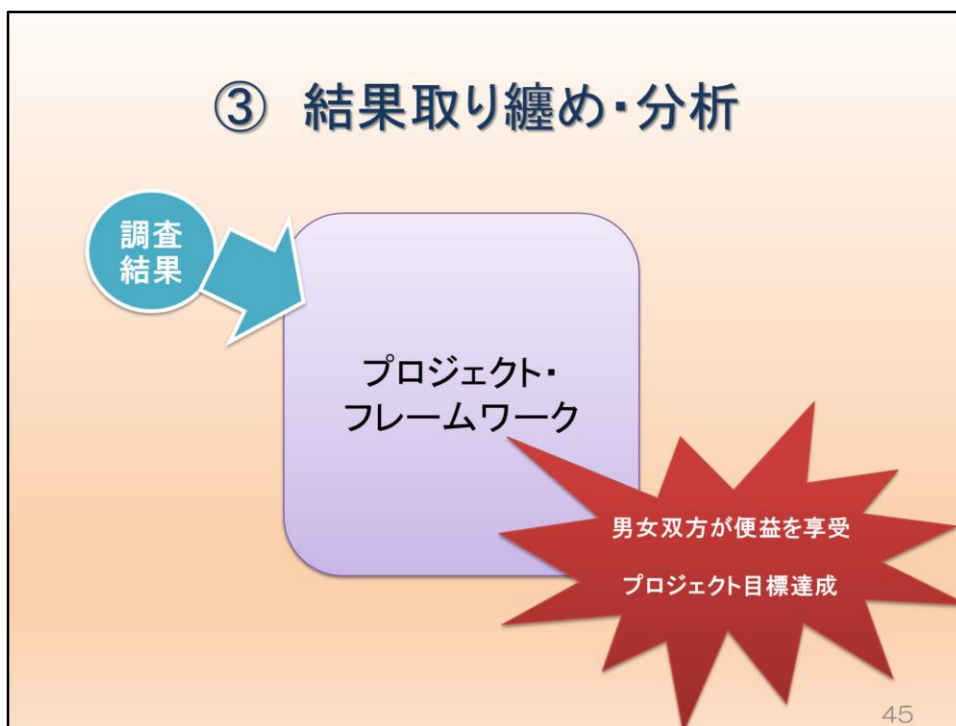
□ 質問は柔軟に、参加者の反応を見て。

44

インタビューやディスカッションを実施する時も、話しやすい雰囲気づくりに心掛けることが重要です。また、事前に作成したチェックリストや質問票に記載された項目すべてを聞かなければならないと考える必要はありません。対象者によって、持っている情報や知識が異なるので、その対象者が良く知っていると思う事項について、深掘りし、あまり知らないのではないかとと思われる話題については省くなど、柔軟な対応が必要となります。

特にディスカッションの際は、ファシリテーターの他に記録係を配置するようにして下さい。ちなみに、上記写真にある女性グループのディスカッションでは、白い服の女性がファシリテーターを務める傍ら、男性が記録係として、参加者の発言内容を書き取っています。

### ③ 結果取り纏め・分析



このようにして集められた情報は、プロジェクトの枠組みの中で分析するようにして下さい。

収集した情報に基づいて、どうしたら対象農家の男女双方がともにプロジェクトに参加し、その便益を共有できるのかを探っていきます。JICAの技術協力プロジェクトの多くが対象とする小規模農家は、男女双方が農作業に参加している場合がほとんどです。男女双方が参加し、プロジェクトからの便益を共有することが出来るようにプロジェクト活動が設計されていれば、プロジェクト目標の円滑な達成が可能となるはずです。



## 4. 演習問題

演習問題について、以下を検討して下さい

1. ジェンダー分析調査結果から何が読み取れますか？
2. プロジェクトの円滑な実施にとって、課題となりそうな事項は何だと思えますか？
3. プロジェクトにその課題にどのように対処するよう提案されますか？

46

それでは、ここで、今まで説明した内容を確認するために、演習問題に取り組んでみてください。

## モジュール2

### 演習問題

X国における JICA 技術協力プロジェクトで実施されたジェンダー分析ツールによる調査結果を踏まえ、以下について検討してください。

1. 次ページ以降の表から何が読み取れますか？
2. プロジェクトの円滑な実施、プロジェクト目標の達成にとって、課題となりそうな事項は何だと思えますか？
3. プロジェクトにその課題にどのように対処するよう提案されますか？

#### プロジェクト概要

JICA では、アフリカ大陸中央部に位置する X 国において、農業協同組合を対象に園芸作物の生産性向上のための技術協力プロジェクトを 2014 年 6 月に開始しました。プロジェクトでは、協同組合の組織強化及びその技術普及能力の向上、そして組合員農家の園芸作物栽培技術向上を通じての生産性向上を目指しています。そのための活動として、協同組合に対しては運営体制の整備を図ると共に、各種研修を通じての組合幹部及びスタッフのキャパシティ構築が計画されています。一方、組合員農家の技術力向上のためには、組合と共同での研修教材開発・研修講師向け研修実施・農家向け研修実施等が予定されています。

#### ジェンダー分析調査の実施

プロジェクト目標及びその活動を踏まえ、同プロジェクトではジェンダー分析ツールを用いての調査をその対象地域で実施しました。調査参加者は、協同組合員とその配偶者で、男女別のグループで演習をしてもらった結果が、次ページ以降のものです。

## Activity Profile

### Productive Activities (French Beans)

Activity	Men's Group		Women's Group	
	Men	Women	Men	Women
Seedbed preparation	√√√	√	√√	√√
Planting	√	√√√	√√	√√
Watering	√√	√√	√	√√√
Spraying	√√√	√	√√√	√
Weeding	√√	√√	√	√√√
Harvesting	√	√√√	√	√√√
Marketing	√√	√√	√√	√√
Income Control	√√√	√	√√√√	

### Reproductive Activities

Activity	Men's Group		Women's Group	
	Men	Women	Men	Women
Cooking	√	√√√		√√√√
Washing	√	√√√		√√√√
Fetching firewood	√√	√√	√	√√√
Fetching water	√	√√√		√√√√
Caring for the sick	√√	√√	√	√√√
Caring for children	√	√√√		√√√
Grinding	√	√√√	√	√√√
House repair	√√√	√	√√	√√
Security	√√√	√	√√	√√



### Daily Activity Calendar

Men's group		Women's Groups	
Time	Activity	Time	Activity
		4.00 am	Wake up, lighting fire to cook
5.00 am	Wake up	5.00am	fetching water, wash utensils
6.00am	Milking, feed livestock	6.00am	Prepare breakfast, prepare children for school
7.00am	Take breakfast	7.00 am	Take breakfast, feed livestock
8.00 -12.00 pm	Work in the farm	8.00 -10.00am	At the market, work in the farm
		11.00 -12.00pm	Work in the farm
1.00pm	Take lunch, rest	1.00pm	Cooking lunch, take lunch, clean compound, feed livestock
3.00-4.00pm	Work in the farm	3.00 - 5.00pm	Work in the farm,
4.00pm	Take a walk	5.00pm	Fetch firewood
7.00pm	Take dinner	5-6.00pm	At market, milking
7-8.00pm	resting	7.00pm	Take care of children, cooking,
9pm -5.00am	Sleeping	8.00pm	assist children do home work
		9.00 pm	Take dinner, wash utensils
		10.00pm-4.00pm	Sleeping

### Access to and Control of Resources

(Access)

Resources	Men's Group		Women's Group	
	Who has access to it?		Who has access to it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	√√	√√	√√	√√
Farm tools	√√	√√	√√	√√
Dairy cow	√√	√√	√√	√√
Poultry(Local)	√	√√√	√	√√√
Training	√√√	√	√√√	√
Bicycle	√√√√		√√√√	
French beans	√√	√√	√√	√√
Farm Income	√√√	√	√√√	√

(Control)

Resources	Men's Group		Women's Group	
	Who controls it?		Who controls it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	√√√	√	√√√	√
Farm tools	√√	√√	√√√	√
Dairy cow	√√√	√	√√√√	
Poultry(Local)	√√	√√	√√	√√
Training	√√√	√	√√√√	
Bicycle	√√√√		√√√√	
French beans	√√√	√	√√√√	
Farm Income	√√√√		√√√√	

## 5. 分析ツールから得た情報の読み解き方ー演習事例を使って

51

演習問題は如何だったでしょうか。

それでは、これから、演習事例に基づいて、どのようにツール結果を読み取っていくのかについて考えてみます。

## 5.1 ツールから読み取れる課題 Activity Profile



52

まず、「Activity Profile」から見ていきます。

「Activity Profile」は、生産活動や再生産活動／家事労働に世帯内の誰がどの程度従事しているのかを確認するためのツールでした。演習問題では、農家が主に生産している作物はサヤインゲンです。そのため、サヤインゲンについての作業工程が、リストアップされています。男性グループと女性グループがグループに分かれて、グループワークをした結果、各作業への男女の参加度合いについて、それぞれのグループで若干認識の相違があることが分かります。女性は、男性よりも女性の方が全般的に生産活動に従事していると思っているようですが、男性は、女性と同じ度合いで従事していると思っているようです。また、農薬散布は、男性が主に担う仕事として、男女双方に理解されていることが分かります。

その一方で、生産物から得られた収益は男性が握っていること、再生産活動は女性が主として行っていることも読み取れるかと思えます。

## 5.1 ツールから読み取れる課題 Daily Activity Calendar

男性の行動

女性の行動

- ・ 世帯内で誰が何を
- ・ 誰がどのような役割を
- ・ それぞれの役割にどの程度の時間を

演習事例の場合

- 女性は一日を通じて多忙であり、家事労働に多くの時間を割いている
- 男性は比較的時間に余裕がある

53

それでは、次に「Daily Activity Calendar」に移ります。

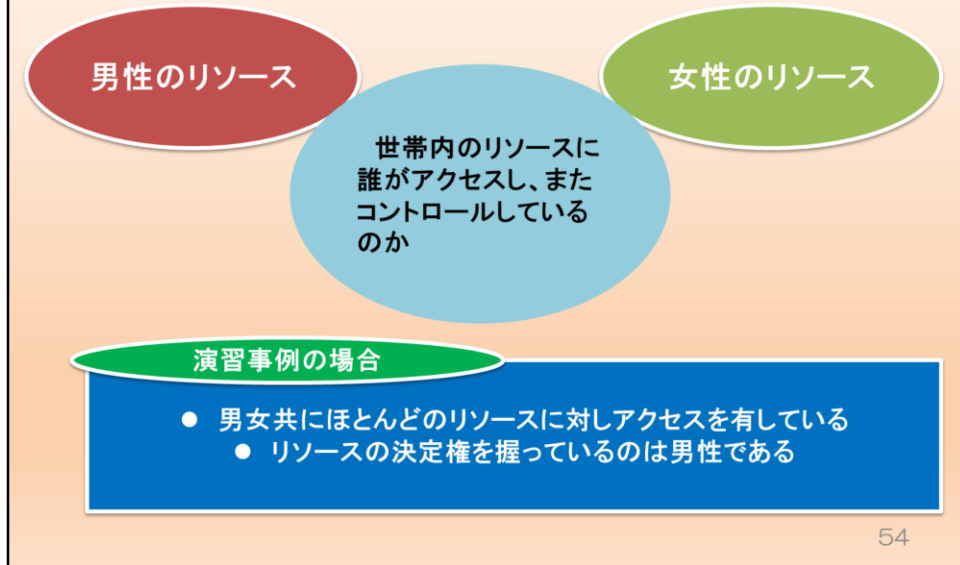
男性グループが作成した男性の一日と、女性グループが作成した女性の一日となりますが、どんなことがわかるでしょうか？

女性は朝起きてから、夜寝るまで、ほぼ休息なしに労働に追われていることが分かります。一方、男性は、午前中に農作業を終えると、午後は比較的時間に余裕があるようです。

「Activity Profile」で男性グループが自分たちも従事しているとした「薪集め」が、「Daily Activity Calendar」では出てきていません。男性は従事するとしたものの、女性が留守の時などに必要に応じて、やることもあると言った程度で、毎日従事しているわけではない様子が見えます。

このように、一つ一つのツールの結果を見ていくと共に、各ツール結果を比較しながら情報を得ることもできます。

## 5.1 ツールから読み取れる課題 Access & Control



それでは、3つ目のツールの「Access and Control Profile」はどうでしょうか？

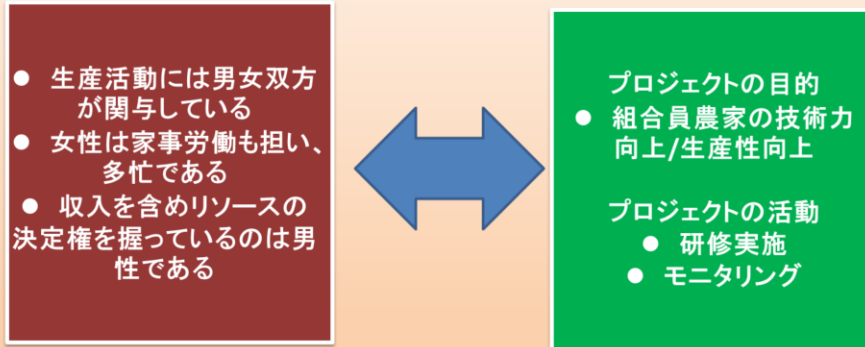
参加農家は、園芸作物生産に必要な不可欠なリソース／資源として、土地、農具を挙げ、世帯内の重要なリソース／資源として、乳牛、鶏、自転車、そして、収穫物とそこからの収益を挙げています。また、研修が、リソース／資源として挙げられていますが、これは先に説明したように、プロジェクト側が通常研修に参加するのが男女いずれかなのかが知りたくて、プロジェクト側が提案して、リストに入れたものと思います。

このように、プロジェクト側が事前にリソース／資源を特定する場合はもちろん、農家に特定してもら場合も、プロジェクト側が知りたい項目が入るように、話し合いをファシリテーションするようにして下さい。

ツール結果からは何が読み取れるでしょうか？

ほとんどのリソース／資源は男女ともにアクセスがあるようですが、自転車は男性だけが使っているようです。一方、リソース／資源をどのように使うかを決定するのはほぼ男性であることがわかります。なお、研修についても、男性が主に参加していることに留意してください。プロジェクト側が何らかの手立てを取らないと、サヤインゲンの生産に従事している女性は、研修に来ない可能性が高くなると思われます。

## 5.2 課題をプロジェクトの枠組みの中で考える




55

分析ツールの結果について確認出来たら、そこからの情報をどのように活用すればよいのかについて考えます。演習問題には、「プロジェクトの円滑な実施、プロジェクト目標の達成にとって、課題となりそうな事項は何だと思えますか？」との質問があります。

プロジェクトが分析ツールを使って調査を行う理由は、対象地域の男女がどのように生活を営み、それがプロジェクトの円滑な実施やプロジェクト目標の達成にどのような影響を与えるかを確認するためです。

従って、この演習事例では、分析ツールから得られた「生産活動への男女双方の関与」、「女性の過重労働」、「男性による意思決定の独占」が、プロジェクト目標の達成やプロジェクト活動の円滑な実施にどのような影響を与えそうかを見極めていく事になります。

## 5.2 . 課題をプロジェクトの枠組みの中で考える



研修にだれを招くべき？  
誰が技術を実践してくれるだろう？

プロジェクトの目的

- 組合員農家の技術力向上/生産性向上

プロジェクトの活動

- 研修実施
- モニタリング

56

例えば、プロジェクト活動に与える影響について考えてみます。

農家の技術力向上のために研修を実施する場合、誰に来てもらえば良いでしょうか？ 来られる人であれば、誰でも良いのでしょうか？

プロジェクトとしては、その技術を農地で実践してくれる人に参加してもらう必要があります。

女性が農作業の重要な担い手であることは、分析ツール結果から分かっていますから、時間に余裕のある男性のみならず女性にも、研修に参加してほしいところです。でも、その一方で、農地をどのように活用するかは男性に意思決定権がありそうです。せつかく、農作業に従事する女性に必要な技術を習得してもらっても、男性が農地でその技術を活用することに反対するかもしれません。

さて、この相反する状況に対して、プロジェクトとしてどのような介入を行っていく必要があるのでしょうか？

それでは、次に、実際にこのような状況に直面したあるプロジェクトが行った具体的な活動を見ていきます。



## 6. ジェンダー主流化活動の例

57

## ジェンダー活動の例



(1) 研修には男女双方を招く

58

そのプロジェクトがまず計画したのは、研修に必ず男女双方に来てもらうようにするという事でした。

単に、普及員を通じて、農家に研修参加を呼び掛けてもらうだけだと、時間に余裕があり、研修に参加することは自分たちの役割と考えている男性農家だけが来てしまうことは明らかでした。そこでプロジェクトは、地域の指導者や有力者に、プロジェクトの目的や活動内容を紹介すると共に、女性が農作業の多くを担っているという事実を改めて指摘することで、女性にも研修に参加してもらいたいという意向を伝えたのです。その結果、指導者や有力者の人たちの納得を得て、彼・彼女らから、男性農家に対して、自分たちの妻や娘、あるいは姉妹が研修に参加できるように促してもらったのです。また、その際に、農作業に熱心に取り組んでくれている男女がまず研修参加の優先権を得るようにも配慮してもらいました。

このようにしてプロジェクトでは、研修参加者の男女ほぼ同数を達成したのです。

## ジェンダー活動の例



### (2) ジェンダー啓発研修の実施

59

次にプロジェクトでは、農家を対象としたジェンダー啓発研修を実施しました。

研修では、「Activity Profile」、「Daily Activity Calendar」、「Access & Control Profile」を研修参加農家に使ってもらい、世帯内の男性と女性がどのように働き、どのようにリソースを共有しているのかを考えてもらいました。ほとんどの農家は、他の世帯構成員がどのような作業をどれだけの時間をかけて行っているのかをあまり意識していません。男性であれば、昔、自分のおじいさんやお父さんがしていたことを自分もしているだけであり、女性も、昔、おばあさんやお母さんがしてきたことをしているだけです。そのやり方を変えることの必要性について考えたこともないという場合がほとんどでした。しかし、分析ツールを使って、視覚的に男女間での格差を目の当たりにすると、これでは、効率が悪いし、夫婦間の関係が悪くなるのも当たり前であることに気付くのです。

ひとたび、自分たちの生活の仕方に問題があると気付いてくれれば、あとは、農家自身がその解決方法を導き出してくれます。

## 7. まとめ

60

それでは、最後にモジュール2のまとめです。

## 思いこみ/期待を排除

これって  
本当？



1. 生産性向上に役立つ研修・  
技術であれば実践される

2. 研修参加者は世帯内で  
技術移転をする

3. 農業収入向上は世帯構成員全  
員の便益だから、皆が協力し合う

61

私たち一人一人は、自らの経験から、相手の反応を推測します。「こういうことが起これば、こういう風に反応するはず」と自分の経験値から、判断します。同じような境遇の同じような考え方を持つと分かっている仲間内ならば、経験値に基づいて判断しても、さほど支障がないでしょう。

しかし、JICAがプロジェクトを実施する地域はほとんどの場合、日本人専門家にとって異文化圏です。また、プロジェクトのカウンターパートも、都会で教育を受けたその国のエリートに属している人たちである場合が多く見受けられます。従って、農村で暮らしている人たちの考え方にプロジェクト関係者はあまり精通していないと言えます。

スライドにある3点は、プロジェクトに従事する関係者がつついてしまいがちな思い込みです。でも、本当にそうなのでしょうか？生産性向上に役立つ技術は、誰にとっても何をも差し置いて適用したい技術なのでしょうか？世帯内の誰かが習ってきた技術は、他の世帯構成員にも当然、伝わるものなのでしょうか？自分に何の決定権のない収入でも、その収入の増加のために、誰もが一生懸命働くのでしょうか？

少し視点を変えるだけで、多くの疑問がわいてくるはずです。

## 4. 思いこみ/期待を排除

1. 生産性向上に役立つ研修・技術であれば実践される

世帯における実践者が研修に来ている？

2. 研修参加者  
技術移転

研修参加者と実践者のコミュニケーションは充分？

3. 農

農業収入の使途は誰が決定？便益は本当に共有される？

答えを知っているのは農家の人達！  
確認しよう

62

最後になりますが、自分が当然と思っていることが本当に、対象地域の人たちにとっても当然なのかは、その人たちに話を聞くまでは断定できません。自分の勝手な期待や思い込みが違っていただけからと言って、そのように行動してくれなかった農家を責めることは出来ません。

ジェンダー分析調査は、プロジェクト関係者の勝手な思い込みがプロジェクト目標の達成を阻むことのないよう、対象農家を知り、そして、対象農家の実情に即した介入を計画するための調査です。現場でこの調査を実施することで、新たな視点を獲得することが出来るはずです。

## 参考:グループワーク結果

2015年度の能力強化研修に参加した皆さんの配布資料に係るグループワークの結果が別添資料としてありますので、必要に応じて参照してください。